

**分野別情報****第4回化学物質・汚染物質専門調査会清涼飲料水部会議事概要**

## ○第4回化学物質・汚染物質専門調査会清涼飲料水部会

日時:平成21年4月13日(月)14:00~15:40

場所:食品安全委員会 大会議室

## 議事概要:

(1)清涼飲料水中の化学物質(クロロホルム、ブロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン、ブロモホルム、総トリハロメタン)の規格基準改正に係る食品健康影響評価について

## 1)クロロホルム

・評価書(案)を幹事会へ報告することとなった。

\* 原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。

揮発性の高い、芳香のある液体で、麻酔剤や消毒剤などの医薬品、油脂やゴムの有機溶剤、消火剤などに利用されます。

## 2)ブロモジクロロメタン

・評価書(案)を幹事会へ報告することとなった。

\* 原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。

揮発性の高い液体で、洗浄剤や塗料などを合成するための溶媒として利用されます。

## 3)ジブロモクロロメタン

・ヒトへの発がん性の可能性は否定できないとし、評価書(案)を修正の上、幹事会へ報告することとなった。

\* 原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。

揮発性の高い液体で、冷媒や農薬などの製造過程での合成中間体として生成します。

## 4)ブロモホルム

・ヒトへの発がん性の可能性は否定できないとし、評価書(案)を修正の上、幹事会へ報告することとなった。

\* 原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。

比重の大きい液体で、地質分析や鉱物の選別に利用されます。鎮静剤や睡眠薬の成分にもなります。

## 5)総トリハロメタン

・評価書(案)を一部修正の上、幹事会へ報告することとなった。

\* クロロホルム、ブロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン、ブロモホルムの総称です。それぞれの生成量は、水中の温度、pH、塩化物イオンや臭化物イオンの濃度に依存します。

## 6)ベンチマークドース(BMD)アプローチを用いた評価について

・清涼飲料水の評価に係るBMDアプローチを用いた評価の取り扱い(案)について、一部修正の上、幹事会へ報告することとなった。